

# 電子辞書ビューア DICTOOL と語学学習と私

## —学生モニターアンケートと私的体験を踏まえた考察—

樋口直樹<sup>\*1</sup>

Email: Higuchi.naoki@univ.coop

\*1: 大学生協事業連合九州地区店舗事業グループ

◎Key Words 語学学習, TOEIC, 電子書籍, IT スキル, 学生モニター, 学びの総合提案

### 1. はじめに

大学生協では、従前の電子辞書や紙の辞書に替わる学習ツールとして、電子辞書ビューア「DICTOOL(ディクトール)」を開発し、大学生協の組合員(大学生と教職員)に提供している。DICTOOLは2022年に大きくリニューアルし、WEB上のコンテンツサービスになったことで、機能性と利便性は大きく飛躍し、使いやすくなった。

大学生協九州地区において、2023年6月～2024年1月にかけて、現役学生約300人にDICTOOLのモニターになっていただき、日常の勉学研究の場面で、DICTOOLを活用することで、具体的にどのように役立つのかを調査した。

この調査により、DICTOOLは従来の電子辞書の置き換えにとどまらず、語学学習をはじめとして、大学生活の勉学研究に非常に役立つツールとなっていることが推測できた。

今回の発表では、それらのモニターアンケートに寄せられた声に基づく使用実感を紹介するとともに、筆者個人の体験も踏まえながら、新しい使い方や発展の方向性について考察する。

### 2. 学生モニター募集のきっかけ

大学生協でDICTOOLを推進するにあたり、学生の使用実感を調査することは欠かせないプロセスである。一般的な○×式や項目選択式のアンケートではなく、具体的な使用実感を回答していただくために自由回答欄をメインとしたアンケートを実施した。実施内容は以下の通り。

【時期】2023年6月～2024年1月

【対象】DICTOOLモニター学生

【手段】MS社FORMSを用いたオンライン回答

【大学別回答数】

長崎大 10人

宮崎大 67人

西南学院大 83人

熊本大 30人

佐賀大 43人

九州国際大 6人

九州工業大 28人

鹿児島大 27人

九州大 2名

長崎県立大 2名

北九州市立大 2名

合計 309名

【学年別回答数】

1年生 98人(32%)

2年生 93人(30%)

3年生 56人(18%)

4年生 49人(16%)

大学院生以上 13人(4%)

合計 309人

回答にあたっては、体験期間を約2ヶ月と想定し、できるだけ実際の勉学研究の場面でDICTOOLを活用してもらったうえで、アンケートに回答していただくように呼び掛けた。

その結果として、回答欄には長文の使用実感が寄せられ、より具体的な感想を知ることができた。

### 3. 学生モニターの感想文より

自由回答欄からDICTOOLのどこに魅力を感じたかの回答の内容を数値化したところ、下記のような意見が上位となった。

パソコンやタブレットで使用できる、持ち運びに便利	90
読解アシスト	55
SVOCの表示	43
効率よく学習ができる	42
情報の信ぴょう性が高い	37
スピーキングの練習ができる	35
第2外国語にも活用できる	26
コピー&ペーストができる	24
単語帳機能(オリジナル単語帳ができる)	17
一度に複数の辞書から検索できる	17
スラッシュ読み(文章区切り)機能	16
専門用語も検索できる	16
リスニングの練習ができる	11
検索方法が豊富(例文検索・逆引き)	10
翻訳サイトに頼らなくてよい	8

上記の結果として、既存の電子辞書にはない特徴や機能に肯定的な意見が集まっており、単に電

子辞書の置き換えにとどまらない使い方に魅力を感じていることがうかがえる。

学生の勉学ツールの多様化に伴い、学生が持ち運ぶツール重量が増えている中で、「持ち運びに便利」というのは、大きな魅力として感じているようである。

また、「今後追加してほしい機能」を聞いた設問では「全文翻訳」のニーズが圧倒的に大きかった。Google翻訳やAI翻訳の台頭で、全文翻訳ができる環境になれると、単語を一つ一つ調べながら読み進めるといったスタイルは、なんだか遠回りのように感じるのではないかと？

次に目立ったのが「ゲーム機能」である。高校生の間では、アルファベットの標的をシューティングしながら単語の意味を当てるようなスマホアプリが人気だとの記事を目にしたことがある。こうした「遊びながら勉強する」というスタイルは若い学生ならではの発想なのかもしれない。

#### 4. 学生モニターの5段階評価

上記の回答と同時に、純粋に使い勝手について5段階で評価してもらった。結果は以下の通り。

使い勝手

	回答数	割合
とても簡単	59人	19%
簡単	136人	44%
普通	80人	26%
やや難しかった	31人	10%
難しかった	0人	0%
合計	306人	100%

日常の勉学研究に役立つか？

	回答数	割合
とても役立つ	89人	30%
役立つだろう	159人	54%
普通	48人	16%
あまり役立たないかも	0人	0%
役立たない	0人	0%
合計	296人	100%

新入生にお勧めしたいか？

	回答数	割合
ぜひお勧め	72人	23%
お勧め	154人	50%
普通	66人	21%
あまり勧めない	14人	5%
勧めない	3人	1%
合計	309人	100%

3つの設問において、当初に大学生協職員が想定していた以上に高評価を得ることができた。モニターを開始してから回答までに約2ヶ月間あったことで、じっくり使ってみることができたことも高評価の

要因になっていると推測出来る。

#### 5. 筆者による DICTOOL 体験

筆者もまた、熱心な DICTOOL ユーザーの一人である。個人的自己研鑽として、英語学習を行っており、2021年12月よりTOEIC公開テストを年3回受験することを自らに課している。以下は、筆者自身の日常的な英語学習を行うにあたって、DICTOOLの使い勝手について考察する。

#### 6. DICTOOLの機能1「SVOCの表示」

DICTOOLにはSVOC表示機能がついている。この機能が英語学習初心者である筆者には非常に効果的だった。TOEICには100単語程度の長文が出てくるのだが、なかなかSVOCを見分けるのは難しいうえに、この部分を丁寧に解説している問題集は筆者の知る限りは皆無である。TOEIC問題の復習時に構文を把握することが極めて効果的なだけに、この機能は極めて役立った。

#### 7. DICTOOLの機能2「音声認識機能」

市販の電子辞書やWEBサイトの翻訳ページにも音声機能はあるものの、任意の文書をユーザーが読み上げ、発音精度を向上させる機能はDICTOOLがもっとも使い勝手が良いように思えた。

先述した学生アンケートにも「英語でのプレゼンに備えて発音トレーニングに使用した」「合唱部で英語の歌を歌う際の発音チェックに役立った」という意見があり、この機能は、英語学習にとどまらない、もっと活用方法の広がりが見込める。

#### 8. おわりに

電子辞書ビューア DICTOOL は、大学生協の電子書籍事業(大学生協では「DECS事業」と呼称)の一つとして誕生したものである。本来は電子書籍を読み進む際に簡単に用語や単語を検索できるツールとして誕生した。そのため DICTOOL は電子書籍の普及が進めば進むほど、その有用性を発揮するだろう。

また、上記とは別に語学スキル習得を目指す学生にとっては、語学学習ツールとして単独でも使える可能性を広めている。その意味においてはスマホやタブレットでも使えることで、まさに「寝るとき以外は身につけていることができる学習ツール」として活用できる。

またアプリ版の特徴の一つとして「容易にアップデートができる」という点がある。今後もユーザーが増えれば増えるほどユーザーが便利に感じる機能が追加されることが見込まれる。

近い将来には、大学生の勉学研究を支えるツールとして、パソコン、タブレット、DICTOOL がスタンダードになるのではないだろうか？